

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

通信 八幡 版
2006.vol.30
発行/特定非営利活動法人秀次倶楽部

謹賀新年

今年も「八幡版八幡通信」を
ご愛読いただきますよう
よろしくお願ひ申し上げます
平成十八年 元旦

秀次倶楽部

秀次倶楽部 / 事務局

まちづくりや文化、歴史について情報を発信して
いきたいと考えています。地域のコミュニティス
ペースとしてお気軽にご利用ください。

会員募集 正会員 賛助会員 団体会員
入会を希望される方は事務局までご連絡ください

F523-0892 滋賀県近江八幡市出町131 天ハシガ1階
TEL.0748(32)1985 FAX.0748(32)3514 (ラビットハウス内)

「八幡山城跡」

昨年9月に近江八幡市立図書館にて勉強会を開催しました。近江八幡市文化振興課の奈良俊哉さんに「八幡山城」と題して、主に秀次居館跡周辺のこれまでの発掘調査経過報告と今後の調査の方向性や八幡山城の国史跡指定に向けての全体の調査、

八幡堀や城下の調査の必要性などについて講演頂きました。八幡山城は山城の形態をもつものでこの時代としてはめずらしく天守と居館が離れています。今までに出土した瓦は大坂城に使われていたものと同じものがいくつかあり、しかも大量生産が可能な最新の製法で作られていたそうです。また、秀次居館は城下の東町の向きに合わせて建てられていて、西町は少し後で形成され、その向きも若干ずれているとのことです。八幡山城が壊された時期は、秀次自害後か清洲に移ったのち自ら壊したのかはまだわかりませんが、当時の城の壊し方にもその部を壊すなど様々で居館周辺に関しては跡形もなく壊され建物の跡も瓦や粘土で平らに突き固められていたそうです。現地にはまだ大量の土砂が堆積していて、その土砂を取り除くには近くまでの管理道路が必要で、八幡公園の整備が待たれています。現在はそれに伴う調査を行っているとの事です。

10月からの調査は八幡公園の西側、雇用促進住宅のすぐ上で行なわれています。五輪塔などがあり、室町時代にはお寺があったそうです。11月の末に現地を訪れ、調査を担当されている三尾さんにお話を伺いました。家臣団の屋敷跡と見られ、当時の石垣や地盤面、建物の礎石の下部が確認でき、瓦やかかわらけ、お皿などが出土しているとのこと。まず、石垣をすべて表して、続いて建物の礎石などを順に表していけるそうです。また、現在の調査場所の続きに大手道があり、そちらの調査もできると楽しみにされています。江戸時代に神社が建立された時に、大手道に手を加えたという記述が残っているそうです。こちらも確認していきたいとのことでした。今年2月頃に現地説明会を開催される予定ですので興味のある方は行かれてみてはいかがでしょうか。調査はまだまだ続きます。将来的には、遺構を残して歴史公園にしていく考えで、国史跡指定に向けて北ノ庄城を含めた全体の調査が進められていく予定です。

跡地がどのような形になるにしても市民にとって親しみやすい場所であってほしいと願っています。

(船橋)

新春インタビュー
静岡大学附属図書館長
静岡大学教授(日本中世史)
小和田哲男氏

「功名が辻」の時代考証
山内一豊の妻「千代」が育てた「秀次」



明けましておめでとうございます。旧年中は当秀次倶楽部になにかとご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も皆様方のご健勝と、ご一家のますますの繁栄をお祈り申し上げます。

おかげさまで秀次倶楽部の活動は、ようやく軌道に乗って参りました。近江八幡の町づくりや文化の向上に少しでもお役に立てるよう会員一同、ことしも力を尽くす所存でございます。

恒例の仄仄通信新春インタビューは、静岡大学教育学部の小和田先生を訪ねました。NHKテレビ「その時、歴史が動いた」の解説などで、ご存じの方も多いことと思います。先生は、秀次公の事績に通じた数少ない歴史家の一人であり「豊臣秀次 殺生関白の悲劇」(PHP新書)の著書もあります。大学の研究室まで押しかけ、お話を伺いました。

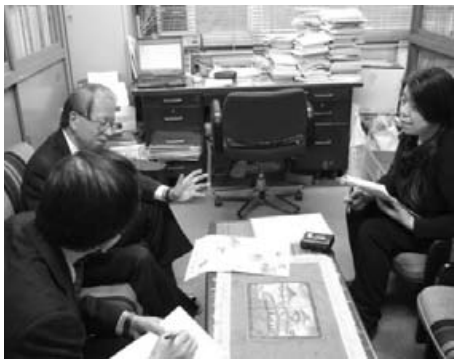
巷間伝えられる誤った情報や伝承が秀次公の画像を、どれほどねじ曲げてきたことか。「殺生関白なんて真つ赤な嘘」「文武両道に秀でた近江八幡開町の祖ではないか」「本当の姿を全国の人に知ってもらいたい」というのが我々の一貫した主張であり願いです。

秀次倶楽部が、切望してやまなかった「誤解を解く機会」が、ようやく巡ってきたようです。思わずひざを乗り越出してよく伺ってみると、先生はこう言われたのです。

「私が、功名が辻の時代考証を担当することにになりました。秀次公は宮部継潤の家に養子に出される前に、ドラマの主人公・千代(山内一豊の妻)に学問や礼儀を習うという設定にします。悪者扱いなどはしません。」

かつてNHKのドラマで、秀次公がまるで極悪人のように扱われ、近江八幡市民有志が、NHKまで申し入れに行ったことがあったのを、ご記憶の方も多かろうと思います。小和田先生のご尽力で、ついにNHKから正しい歴史解釈に基づく秀次公の姿が全国に届けられるわけです。ことしは「功名が辻」から目が離せません。皆様もどうか、こ

開口一番、先生から思いがけない朗報がもたらされました。今年のNHK大河ドラマ「功名が辻」に秀次公が登場、しかも従来のような悪者扱いではなく、幼少時代から青年武将としての教養を積んでいく有り様が、正確に描かれるというのです。



2002年3月 第1刷発行

小和田哲男 [おわだ・てつお]
1944年、静岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。現在、静岡大学附属図書館長・静岡大学教育学部教授。専攻は日本中世史。文学博士。著書にPHP新書「豊臣秀次」をはじめ、「石田三成」「明智光秀」「徳川秀忠」、中公新書から「戦国武将」「豊臣秀吉」「軍師・参謀」「戦国合戦事典」など多数。



2002年3月 第1刷発行

小和田哲男 [おわだ・てつお]
1944年、静岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。現在、静岡大学附属図書館長・静岡大学教育学部教授。専攻は日本中世史。文学博士。著書にPHP新書「豊臣秀次」をはじめ、「石田三成」「明智光秀」「徳川秀忠」、中公新書から「戦国武将」「豊臣秀吉」「軍師・参謀」「戦国合戦事典」など多数。



ココロふれあう町ではちふらしよう!

近江八幡まちおこしキャンペーン実施中!!

地元のお店でお買い物

URL <http://www.shiga-web.or.jp/kin8cci/>

創立50周年を迎える本年度、当所では「地元購買・消費」「地元取引」を推進し、地域の経済活動交流が活発になることを目指し、啓発活動を展開するため、近江八幡をイメージした「シンボルマーク」と「キャッチフレーズ」を作成しました。シンボルマークは近江八幡の豊かな自然と商人の町で暮らす人々の精神、そして八幡堀や琵琶湖の水の流れを象徴しています。キャッチフレーズの「ココロふれあう町ではちふらしよう」とは、はちまんを歩く楽しさと近江八幡のプライドづくりという意味が込められた言葉です。地域経済の活性化に向け、地域が一体となり活動の輪を広げていきたいと思ひます。

近江八幡市桜宮町231-2
TEL (0748) 33-4141(代)

近江八幡商工会議所

ココロふれあう町ではちふらしよう!

地元のお店でお買い物
enjoy shopping in hometown

近江八幡商工会議所

安らぎと祈りの道 中山道 ①

八幡には東西に走る二つの大きな街道がある。その一つは旧中山道、現在の国道8号線で、他方旧市街地を抜ける朝鮮人街道(町中では京街道と呼ばれる)がある。

その南、2kmに走る国道8号線は、西は日野川に架る横関橋を渡り、東横関町に入る。この街道を私は、「安らぎと祈りの道」と名づけている。中世我が国の主たる道が整備され、大名・小名の通行はもとより、一般の人々も旅に、商用にとそれぞれの道行きに利用したであろう。

程なく馬淵町に入るや街道に沿って応神天皇を祭神とし桃山時代に建立され、国の指定を受けている八幡社の本殿を目にする。三間社流造の檜皮葺きの社殿が美しく、その高欄の凝宝珠には、文禄・天保の刻名が残されており、又毎年、同神社に奉納されている猿楽の面は鎌倉期の作で、この宮を氏神とする氏子達によって毎年五月一日・五日の間宮座神事が行われている。正に中世に端を発した村人たちの信仰の姿を素朴な農民達の生活の中にしのぶことが出来る。

又この神社東側には、眞光寺といわれるお寺があり、かつてこの一帯を治めていた馬淵城主の佐々木氏の墓所として、慶長九年・慶長十六年・寛永四年・寛永五年の銘を残す四基の五輪塔群が存在している。今この馬淵町は東西に町内を貫いている国道8号線にあつて昔の村の歴史や遺跡を分断している。

町をはずれると千僧供町に入る。まず国指定による木造阿彌陀如来立像を祭る西来寺があり、そして村はずれには森にかまれた椿神社が鎮座し、坂本の日吉大社の二つとされ、神社の神門は県の指定を受けている。又社殿に祀られている僧形神像は、かつての神佛合祀の名残りであり、神社入口、神門の前には、「四分・四分・二分」といわれている区切り石があり、昔はこの神社を氏神とする氏子の灌漑用水の配分を示すものでこの村の農業史を研究する貴重な民俗資料として先の八幡社の宮座や猿楽と並びこの地方の研究に欠くことの出来ないものである。

又、この千僧供町の入口あたり一帯に、千僧供廃寺跡が存在し、その中心部に供養塚があり、往古この地を発掘し、短甲や刀、埴輪片が発見され、会所で保管されていたが、再び戦後発掘調査がなされおびた



椿神社

だしい埴輪が出土し、現在原埋蔵文化財センターに保管されている。

その他、住蓮坊古墳・トギス古墳・岩塚古墳・ジババの古墳など十指に余る古墳群が集中しており、正に祈りの道沿いにふさわしい。

この岩倉山のおもとは、馬見岡神社があり、祭神を天津日子根命と天戸間見命及び、女神座像(四)僧形神座像(二)の八体が重要文化財の指定を受けており、式内社の社としてこの馬淵地区の総社としての格式をもち、馬淵町の八幡社、千僧供町の椿神社、岩倉町の諏訪神社で行われる宮座神事は、古式を豊かに残す見事なものである。

この神社について道をへだてて小さなお寺があり、冷泉寺と呼ばれ、平安時代の千手観音、薬師如来、地藏菩薩の三体を有している。小さなお寺にこれだけの仏教芸術の粋を集めているということは、かつての千僧供廃寺の大きさを物語っているものと思われる。神社横の小さな山道を少し登ると、福寿寺がある。井上やすしの「星と祭り」に登場してくる千手観音像は余りにも有名であり、又庭園も県の史蹟のついでに数えられてこの寺の隅に八幡商人が好んで茶会を開いたとされる吸江庵遺跡があり、その跡に残る白い花をつける「吸江椿」は茶人間では有名となっている。

この寺より南側ふもとには県指定の庭園を持つ妙感寺があり、先述の諏訪神社へと続いている。そして、神社裏側に連なる山麓には、長光寺城跡があり、応仁二年(一四六八)佐々木氏がこの城で戦ったとされ、織田信長は柴田勝家に命じてこの城を守らしめ、佐々木氏を制し、その戦いの時、柴田勝家は籠城し、水瓶をこわして士気を鼓舞したことから「瓶割柴田」の異名をもったと伝えられ、このことから別名を瓶割城とも呼ばれている。

この岩倉山(別名瓶割山)からの眺望は良く、横関橋の日野川の流れがこの山のすそを通り、千僧供町帯の神社、仏閣を始め村その町並み、中山道の街道に加えて古代人の生活のあつたすべてが、のぞめる場所にあつて、冬への道中と急ぐ山麓の長光寺へと下がれば、境内の名木で市の指定となる「花の木」が今はすっかり冬化粧をすませて旅人を迎えてくれる。



岩塚古墳

(近江八幡市立資料館長 江南洋)

「八幡山の景観を良くする会」

(略称 八景会)

近江八幡のシンボルともいえる八幡山の景観保全に取り組まれている市民グループがあります。代表の村西さんにお話を伺いました。次世代に美しい里山景観とその保存の仕組みを残すために、市民の手で八幡山の景観保存活動を村西さんの呼びかけによって平成17年4月の山頂付近の鷹の除去作業を始まりとして会が発足しました。現在では20名を超えるメンバーで毎月第2水曜日と第4水曜日に木々の間伐や竹の伐採などの整備作業に取り組まれています。メンバーのほとんどが定年退職後の方々で、活動を通しての仲間づくりも大切にされています。作業の回を重ねることに人数も増え、みなさんもより元気で生き生きとされているそうです。高齢化の問題も考えられています。クヌギ林や竹林の保全整備、間伐ともにもみじやさくらなどの計画植樹のほか、タケノコ掘りや椎茸の栽培、竹細工などのイベントと盛りだくさんに計画されています。また、これらの活動を通じて、関連する団体や地元市民グループとも連携し、情報交換や一体的な取り組みを考え、近江八幡のまちづくりの一端を担っていければと力強くお話しされました。

八景会では、会員や作業ボランティアを募集されています。



お問い合わせ▼村西耕爾さん宅(電話322615)まで

再発見

まちなみに装う しいなのほほえみ

市内の旧家や商家等が所有する雛人形・五月人形を商店等のショーウィンドウや屋内に、また、市立資料館が所蔵する雛人形・五月人形等を旧西川家住宅・旧伴屋住宅に展示。江戸後期～昭和30年代中頃の様々な年代の節句人形です。箆笥や長持などの小物も併せて展示します。

【開催日】平成18年2月11日(土・祝)～3月5日(日)
 【場所】近江八幡資料館、および市内各店舗・商家
 【時間】9:00～16:30(入館は16:00まで)
 【交通】近江八幡駅からバスで「小幡町資料館前」下車すぐ
 【料金】大人500円 小人300円(資料館入場料)
 ※市民は住所・氏名記入で無料となります
 【問合せ先】近江八幡市立資料館 TEL.0748-32-7048

近江八幡の新名産

葎うどん



「農業祭」で葎うどんを販売

近江八幡の新名産として開発した「葎うどん」。スタレなどに加工される葎。その葎の葉を原料にした葎うどんは昨年11月の「農業祭」で販売し多くの方々に好評をいただきました。八幡公民館で「葎うどん」作りが行われました。八幡公民館行事で11月6日文化祭が行われました。八幡学区の子供達が前日、葎の文化について学習する中で葎だんご作りに挑戦しました。秀次倶楽部の高木理事長が葎や町づくりについてお話をし、西生来町の久郷さんの指導で多くのだんごが出来上がりました。翌日のパザールでは完売し好評でした。



▲2006年11月の農業祭にて「葎うどん」を販売しました。

第11回 全国金魚すくい選手権 近江八幡予選大会から全国大会に出場!!

昨年8月21日、秀次公の叔父豊臣秀長の領地であった大和郡山口市で開催された「全国金魚すくい選手権」子供の部では近江八幡大会の上位で出場権を手にした森本美波さんと奥田涼太さんが、一般の部では藤高弘さんと服部生史さんが出場され近江八幡の代表として頑張っていました。(今年の予選大会は八幡場で7月16日に開催予定)



▲森本美波さん ▲奥田涼太さん

近江八幡のこだわりの店

かわらミュージアム内喫茶

1/1

より 営業いたします

営業時間 10:00～17:00
 近江八幡市多賀町738-2 かわらミュージアム内 TEL.0748-36-6248

(社)近江八幡観光物産協会

近江八幡市為心町元9(白雲館内)
 TEL.0748-32-7003
 http://www1.ocn.ne.jp/omi8/

協会員募集中

新所楽

近江八幡の工芸品・物産が満載!
 年始は7日から営業いたします。

(有)ほのぼの館 ガラリスペース 新町浜
 〒523-0837 滋賀県近江八幡市大杉町30番地1
 TEL.(0748)36-5115 FAX.(0748)31-3656
 [E-mail] info@shinmachihama.com
 [URL] http://www.shinmachihama.com
 [営業時間] 平日10:00～16:00 [定休日] 水曜
 土日祝/10:00～17:00

フランシングデザイン・プロデュース/お問い合せ先
 (有)ラビットハウス TEL.0748-33-2914

— あけましておめでとうございます —
 年始は17日より営業いたします。

17、18、19、20、21の5日間 おたのしみ宴 進呈!

郷土料理 喜兵衛

近江八幡市新町一丁目八
 電話 0748(32)2045 FAX 0748(32)0905

本年も皆様へ愛される味をお届けいたします。

「新年会」予約受付中
 2006年は1月2日から
 営業いたします。
 http://www.oumi-usi.co.jp

久も利志油

本 店:近江八幡市東川町866-1 TEL.0748-37-4325
 長浜黒壁店:長浜市元浜町11-27 TEL.0749-62-6115